



2012年7月17日

## 2012年度 第1期「日化協 新LRI（長期自主研究）」 研究課題の募集について

一般社団法人 日本化学工業協会（以下、日化協）では、これまで進めて参りました「化学物質が人の健康や環境に及ぼす影響に関する長期自主研究活動（LRI:Long-range Research Initiative）」の取り組みを根本的に見直し、社会のニーズや業界が抱える喫緊の課題解決に向けた、より具体的に役立つテーマに取り組む「日化協 新LRI」を今年度より展開していくことを3月にご案内致しました。

化学物質管理をめぐる国際動向は近年大きく変化し、リスク評価に基づく化学物質管理が国際的に合意され、欧州のREACHや日本の化審法改正など化学物質管理規制が整備・強化されつつあるとともに、化学物質の安全性に対する社会的な関心も高まっています。また、日本の化学業界はグローバル化が進展しているほか、汎用品から高機能製品へとビジネスモデルも変化してきています。こうした動きのなか、国内外の潮流に対応し、科学的手法・科学的知見に基づいて化学物質の安全性を評価し、より安全・適切に化学物質を取り扱っていくことを通じて、世界との競争力を確保していくことが日本の化学業界の喫緊の課題となっています（図-1）。

「日化協 新LRI」では、今年度を第1期として、上記課題解決を目指した、「課題解決型」の研究募集を開始致します。具体的な研究支援分野は以下のとおりです（図-2）。

### <支援研究分野>

- 1) 新規リスク評価手法の開発、評価に関する研究
  - ・新たな安全性(リスク)評価手法、生体影響評価手法および曝露評価手法の開発
  - ・オミックス技術、ITを活用した最新の試験法・評価法の開発と政策への提言
  - ・ヒトにおける有害性や曝露評価の外挿手法開発
- 2) ナノマテリアルを含む、新規化学物質のリスク評価に関する研究
  - ・今後の技術開発に対応する、新規化学物質の適切なリスク評価
  - ・ナノマテリアルの計測手法の開発等
- 3) 小児、高齢者、遺伝子疾患などにおける化学物質の影響に関する研究
  - ・化学物質過敏症、シックハウス症候群等の発症原因の解明や化学物質の影響評価
- 4) 生態(環境)への化学物質の影響評価に関する研究
  - ・有害化学物質による海洋環境影響評価等
  - ・生態環境下での化学物質の変化、挙動解明等
- 5) その他、社会的あるいは国際的に緊急対応が必要とされる課題解決のための研究 等

また、各分野の研究例としては以下のとおりです。

- 化学物質の環境中における挙動に関する研究
- 不確実係数に関する科学的検証
- 呼吸器感作性に関する動物代替試験法開発
- ナノマテリアルのリスク評価に資する材料特性と体内動態／毒性に関する基礎研究 等

詳細は LRI ホームページ (<http://www.j-lri.org/>) 「研究募集」よりご確認ください。 以上

■ 本件に関するお問い合わせ先 ■

一般社団法人 日本化学工業協会 化学品管理部 熊本、大島、黛 TEL:03-3297-2575